

[横浜市旭区民文化センター]
平成29年度事業報告及び収支決算報告書
[横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体]

施設の概要

施設名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所在地	横浜市旭区二俣川一丁目3番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下1階地上6階建の、地上5階および6階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2, 564m ²
開館日	平成2年8月4日

指定管理者

法人名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社横浜メディアアド
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町5番地1
代表団体代表者	代表取締役社長 三浦彰久
代表団体設立年月日	昭和58年1月22日
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで

1 基本方針

(1) 基本的な方針の総括

◆地域文化創造をリードする ”Advanced Center” へ

「サンハート×明るい未来」プロジェクトの第1ステージとして、より地域に根付く文化施設となるために、自主事業ごとのアンケートや区民企画での交流会、文化関連類似施設とのコーディネーター会議等にて意見交換を行い、サンハートの現状把握と課題、新たなニーズの発掘をしました。

また、旭区地域活性化のために、様々なイベントを発案・実行している「旭区まちづくりポット」と協力をし、旭区市民活動支援センター「みなくる」で開催された「いちにち図書館」に参加。平成30年度にはサンハートにて「いちにち図書館」を開催することが決定し、地域施設と良い相互関係を築くことが出来ました。

利用率の向上に努めましたが、利用者の高齢化と近隣の施設の充実に伴い、前年度並みの77%にとどまりました。

収支面では、自主事業収入が予算を大幅に上回るとともに、自主事業費、事務費を節減したことで、1,986,723 円の黒字となりました。

(2) 平成29年度の位置づけ

1. 事業の方針

昨年度は、第一期の指定管理期間で継続してきた事業の趣旨や方向性を改めて見つめなおし、指定管理第二期の、より良い事業実施に向けての始動の年としました。平成29年度は、昨年度立ち上げ又は改善した各事業について、地域での認知度を向上させると共に、サンハートの事業のファンを増やし、ジャンルを越えて、「サンハートに来れば、面白いものが見られる」と感じてもらえるような企画を行いました。

① 交流創造型事業の進化展開

当事業体の大きな成果のひとつに、ワークショップなどの交流創造事業があります。市民の文化活動のきっかけづくりとして始まり、その後持続的な活動に発展させている市民が続出。さらには参加者同士の交流でコミュニティ活性化にも繋がっています。また、ワークショップ終了後は、発表の場にホールを利用する、ボランティアとして施設運営に係るといった好循環も見られます。そのような好循環を積極的に後押しする仕組みを継続し、「人材育成活用事業」として進化させてまいりました。

- 演劇ワークショップ修了生…チケットやプログラム配布を担当する「サポートスタッフ」として
- 絵本の読み聞かせ講座修了生…定期的に「おはなし会」を主催し、また館外への派遣依頼にも応じる「読み聞かせボランティア」として
- ジャズクリニック修了生…定期的な施設利用者やサンハートの情報発信サポーターとして

② 施設外への積極的な発信

ワークショップ・オーディション卒業者のアウトドアでの活用や他施設事業への派遣等を含め、地域内外の活動や、文化イベント・芸術祭等への参加など、サンハートから積極的に外に向かう活動に取り組み、サンハートの発信力を強めました。

- 既存の派遣先とのさらなるつながりと、新規開拓…区内のコミュニティースペースや障がい者施設、保育園、学校などへ音楽家や読み聞かせボランティアを積極的に派遣。既に派遣経験のある施設のみならず、需要のある施設の新規開拓に力を注ぎました。
- 派遣事業の積極的な PR…ホームページに専門のページを設け、派遣方法について具体的に発信。また、地域の様々な団体との接点を増やし、派遣事業についての糸口を模索しました。
- 人材共有の仕組み作り…絵本の読み聞かせボランティアの派遣について、定期的に受け入れを実施している施設とは「人材共有」の仕組みを確立し、よりスムーズな運営を実現しました。

③ 地域・他施設との新しい連携事業

自治会・商店街等との連携はもちろん、区内の他文化施設や、他区の区民文化センターとも連携を強めるなど、地域・他施設との連携を旭区民文化センターがリードして、地域の課題の共有やその解決を目指しました。

- 他文化施設・文化団体との連携…「演劇ワークショップ」では、「旭ガイドボランティアの会」との企画連携を行い、旭区の魅力発見という趣旨を追加し、旭区民には、地元への更なる愛着を持つてもらい、そのほかの地域の方へは、この土地ならではの面白さ、魅力に興味を持つてもらえるような企画へと発展させました。
- 他区民文化センターとの共催…サンハート独自の企画を、他区民文化センターとの共催という形へ発展させ、参加者や観客により魅力的なコンテンツを提供しました。

2. 運営の方針

<顧客満足度の高いサービスの提供>

「施設を利用する時間」、「情報提供」、「利用相談への対応」、「利用者支援」など、利用者・来場者の立場に立ったユーザビリティの高い施設運営を行い、顧客満足度を高めました。

<レベルの高い接遇・接客>

安心と信頼の獲得のために、「職員の接遇・接客」に関する研修を行い、職員一人ひとりの“顔”が見える施設を目指しましたが、外部講師を招いての研修は平成30年度に延期となりました。

<ニーズの把握の徹底と改善への反映>

利用者・区民の声を収集する機会としてアンケートを定常的に実施すると共に、利用者懇話会・各種団体との合同連絡会への参加等を通して利用者と共に課題の抽出や改善に取り組みました。

3. 管理の方針

<二俣川駅北口共同ビル管理組合との一体管理>

構成団体である相鉄企業は二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務と建物維持管理業務を併せて受託しているという利点を活かし、更なる効率的な管理を追求しコストパフォーマンスの高い維持管理を実現しました。

<施設予防保全の実現>

「今、施設や設備がどのような状態か」を踏まえて「今後施設や設備はどうなっていくか」について、将来を見据えた予防保全(中長期修繕計画・設備機器更新計画の策定・提案)に取り組みました。

2 自主事業に関する計画 (事業フレーム等については【別紙1】に記載)

(1) 文化事業の企画および実施について

鑑賞	[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
	<ul style="list-style-type: none">●一流の芸術家による個性的な公演事業□ トップレベルのアーティストによる	<ul style="list-style-type: none">□ 旭区ゆかりの鎌倉武士 畠山重忠の詠み芝居を再演します。□ 公演を通じ、更に地	<ul style="list-style-type: none">□ 「詠み芝居 重忠と菊の前」の一年ぶりの再演に際し、旭ガイドボランティアの会に当	<ul style="list-style-type: none">□ 「詠み芝居 重忠と菊の前」では 2 日間にわたり、275 名が来場され、アンケートでも

	<p>サンハートならではの個性的な公演。</p> <p>□ 大人向けを基本とし、鑑賞をじっくりと楽しんでいただく、特別感のあるコンテンツ。</p>	<p>域に愛着をもつていただけるよう努めます。</p> <p>□ アンサンブルオーディション最優秀賞受賞組によるクラシックコンサートを開催します。若手ながら優れた演奏力・プレゼンテーション力を持つ演奏家への活躍の場を提供します。</p> <p>□ 参加者を対象としたアンケートを引き続き実施し、寄せられた意見を事業に反映し、満足度 80%以上を目指します。</p>	<p>日ロビーにてジオラマ案内を、横浜市歴史博物館には兜の貸出協力をいただき、旭区観光協会、(株)相鉄ビルマネジメントの 2 社からの協賛や、関連グッズの販売などを行いました。</p> <p>□ 育成事業「アンサンブルオーディション」での入賞者や審査員の協力のもと、「アンサンブルフェスティバル」を開催し、普及事業となるアウトリーチコンサートを多数開催しました。</p> <p>□ 各主催事業にて、来場者・参加者アンケートを実施しました。</p>	<p>非常に高い満足度を得ることができました。また、関連グッズ販売については、完売するものもあり、地元店舗との協力の元、盛況のうちに終了しました。</p> <p>□ アンケート実施状況 平均回収率:54% 平均満足度:87% (※平均満足度は、全体から「回答なし」を除いた場合)</p>
	<p>●普段着の芸術鑑賞</p> <p>□ 身近で気軽に芸術に触れられる機会を提供。</p> <p>□ どなたにも楽しんでいただけるように低価格で良質なコンテンツを提供いたします。駅や商店街など、館外でも展</p>	<p>□ 館に足を運ぶ事でできない方々へ向けた「アウトリーチ」事業の充実化を図ります。</p> <p>□ 昨年度始動した「ワンコインコンサート」を引き続き開催し、地域の皆さんに気軽に本格的なクラシック音楽をお楽しみいただける機会を提供しま</p>	<p>□ 今年度新規開拓した施設を含め、演奏会や読み聞かせなど、29 回のアウトリーチを実施しました。</p> <p>□ 計3回のワンコインコンサートを実施し、リピーターとなるお客様もいらっしゃいました。</p>	<p>□ アウトリーチ事業を通じて、地域の様々なコミュニティースペースとの連携を強め、文化ネットワークを構築する事ができました。また、今年度は新規開拓地に地元で芸術活動をしている方を紹介でき、より地域に根付いた活動ができます。</p>

	開。	す。	<input type="checkbox"/> 例年音楽ホールで開催していますが、今年度は音楽ホールで1回、ホールで2回開催しました。
機会提供事業	<p>●サンハートオリジナル</p> <p><input type="checkbox"/> サンハートの育成・交流創造事業としてスタートしたワークショップやオーディション型の事業。</p> <p><input type="checkbox"/> サンハートの顔として、館内公演やアウトリーチ活動にも積極的に参加します。</p>	<p><input type="checkbox"/> 人気企画「演劇ワークショップ」では、演じるだけでなく、芝居を創る要素を加え、ワークショップ参加者オリジナルの、旭区の物語を生み出します。</p> <p><input type="checkbox"/> 「アンサンブルオーディション」入賞者を「サンハートレジデントアーティスト」として広く告知宣伝し、サンハートから館外への発信力を高めます。</p>	<p><input type="checkbox"/> 演劇ワークショップは徐々に固定のリピーターが増え、今年度は旭区の歴史と文化を題材に、地元在住の方や地元で働く方々の話を聞き、グループ毎にオリジナルの物語を創作・発表しました。</p> <p><input type="checkbox"/> サンハートでの主催事業はもちろん、アウトリーチの依頼があった際にも、オーディション入賞者の冠のもと、積極的に起用しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 旭区にまつわる歴史、実話を元に創作・発表したことにより、参加者はもちろん、観客にも、旭区を改めて知っていただくことができました。</p> <p><input type="checkbox"/> ワンコインコンサートを含む館内イベントで4組、旭区内のアウトリーチには5組のオーディション入賞者に出演していただき、より活躍の場を広げることができました。</p>
	<p>●私たちのホール</p> <p><input type="checkbox"/> 市民が企画や運営に参加するコンテンツ。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業参加をきっかけとした参加者同士の出会いや交流の場の創出。</p>	<p><input type="checkbox"/> 「すぐすぐキッズプログラム」への参加団体(指導者)を募集し、共に事業を盛り上げ、さらに、これから継続的な利用へと繋げます。</p>	<p><input type="checkbox"/> リトミック3回、工作1回、コンサート1回、人形劇1回の計6回にわたり、多種多様なプログラムを開催しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に乳幼児連れの企画を開催する事によって、サンハートが母親同士の情報交換の場となるなど、ネットワークの受け皿の役割も果たしました。</p>

	<p><input type="checkbox"/> 事業終了後も参加者が活動を継続できる仕組みを作ります。</p>	<p><input type="checkbox"/> これまで「区民企画」の一環として実施してきた「名画座」を、独自の企画として新体制での運営を行います。</p> <p><input type="checkbox"/> 企画参加者としてサンハートに関わりを持った方々を中心に「サポートスタッフ」としてサンハートの運営へ携わっていただく仕組みを継続します。</p>	<p><input type="checkbox"/> 区民企画委員主体の元、モノクロ邦画 1 回、近代邦画 1 回、子ども向け 1 回、モノクロ洋画 1 回の計 4 回名画座を開催しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 各主催事業において、サポートスタッフ制度を継続し、フロントスタッフや影アナウンスとして、積極的に活動していただきました。</p>	<p><input type="checkbox"/> 上映後に行なう交流会の参加率が上がり、区民企画委員と意見交換をすることで、次回上映内容の参考にすることができました。</p> <p><input type="checkbox"/> サポートスタッフから運営に関わることができ嬉しいとの声も上がっており、スタッフと館内で互恵関係を築くことができました。</p>
	<p>●シーズンイベント (その他)</p> <p><input type="checkbox"/> 空き施設の有効活用を目的とした企画や季節に合わせたイベントなど、幅広い市民に向けた多分野にまたがるコンテンツ。</p>	<p><input type="checkbox"/> ホールの時間貸し(ピアノ練習)を行い、施設の有効活用と収入向上に務めます。</p> <p><input type="checkbox"/> 季節感のある事業、時代感に合ったコンテンツを提供します。</p>	<p><input type="checkbox"/> 毎月 1~5 日間、ホールの空きコマをピアノ時間貸しに利用し、有効活用しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 夏休み子ども体験講座として、ハンドベル講座と映画作りワークショップを開催し、ハンドベルについては 28 名、映画作りについては 25 名の参加がありました。</p>	<p><input type="checkbox"/> 認識度が高まったことで固定客も増え、毎月ほぼ満員になる恒例イベントとなりました。昨年度よりも事業収入が 150,400 円プラスとなっており、収入向上につなげることが出来ました。</p> <p><input type="checkbox"/> 映画作りワークショップでは、旭区外からも応募があり、より多くの子供たちに制作する楽しさを体感してもらうことができました。</p>

(2) 地域コミュニティの形成・社会的包摶(ソーシャルインクルージョン)の推進

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内の対象施設へダイレクトアプローチを行い、隠れた需要の掘り起こしに務めます。 ● 未就学児(特に未就園児)とその親の活動の場としての需要をさらに広げ、地域コミュニティの形成へと繋げます。 	<ul style="list-style-type: none"> □ これまで「要請」を受けてから企画提案を行う「受注型」だったアウトリーチから、より積極的な「企画開発型」へと進化させ、新規アウトリーチ先を増やします。 □ 人気企画「すくすくキッズプログラム」や「おはなし会」の実施回数および固定客を増やし、さらに参加者同士のつながりを広げられるような工夫をします。 	<ul style="list-style-type: none"> □ アウトリーチを求めている企業向けに設けたHP専用ページをより充実させ、新規開拓に努めました。 □ 今年度は6回の「すくすくキッズプログラム」と月1回の「おはなし会」を開催し、リピーターの参加者同士がコミュニケーションを取りやすい雰囲気づくりを行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 新規アウトリーチ先として開拓した企業については、音楽のみならず、落語や地元在住のアーティストによる似顔絵といったバラエティに富んだプログラムを提供でき、地域とより強い連携を結ぶことが出来ました。 □ おはなし会については、地域の乳幼児がいる家庭による口コミ等での情報拡散や、2回のメディア取材も手伝い、毎月安定した参加人数の確保ができました。読み聞かせサポーターに相談している保護者の姿も見られ、コミュニケーションの場も提供することができました。

(3) 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> ●ともに作る:「区民企画委員」の仕組みを継続します。 ●ともに進める:「運営サ 	<ul style="list-style-type: none"> □ これまで継続してきた事業について、参加型の要素を加え、更に区民を巻き込んだ 	<ul style="list-style-type: none"> □ 昨年度の仕組みを踏襲し、区民がより運営に参加できるようなシステムを継続しまし 	<ul style="list-style-type: none"> □ 名画座後に行なう交流会の参加率が増加し、アンケートだけでは得ることが出来な

<p>ポーター」の仕組みを継続します。</p> <p>●ともに育つ：サンハート主催事業から派生した取り組みについて、地域文化に大きく寄与する活動を「共催事業」と位置付け、独自の運営サイクルを確立するまで積極的に支援します。</p> <p>●ともにつながる：サンハートが地域のためにできることを、利用者・市民・地域・関連団体等とともに検討し、地域課題を解決するアイデアを事業化するプロジェクトを、サンハートが主体となって、地域をリード推進します。</p>	<p>企画へと発展させます。</p> <p>□ 「運営サポートスタッフ」を増員し、またサポートスタッフ同士の交流や理解向上に向けた研修を実施します。</p> <p>□ 共催事業を通じて、ホールの将来的な利用者増加に向けた取り組みを工夫します。</p> <p>□ 30周年記念イベントに向け、長期的視野のもと、企画検討を開始します。</p>	<p>た。</p> <p>□ 今年度サポートスタッフの増員はありませんでしたが、業務への理解向上のための研修を実施しました。</p> <p>□ すぐすぐキッズプログラムやおはなし会などの共催事業を定期的に行いました。</p> <p>□ 文化関連類似施設とのコーディネーター会議を通して、当館の抱える問題点の洗い出しを行いました。</p>	<p>い密な意見交換をすることができました。</p> <p>□ 今年度の運営サポートスタッフへの研修は、避難経路や消火器配置箇所の確認等を行い、一同一歩進んだサービスマナーを身に着けることが出来ました。</p> <p>□ 乳幼児を持つ親の間で、当館の取り組みが口コミ等で広がり、事業として定着させることができました。</p> <p>□ 他施設での対処法や事業に対するノウハウを学び、より良い運営ができるよう、事業担当者間で課題共有をすることが出来ました。</p>
--	---	--	---

3 施設の運営に関する計画

(1) 顧客満足度の向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やします。</p> <p>◆アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握します。</p>	<p>□施設利用者の発表会を広報支援し、直近のホール・諸室の空き状況を情報コーナーに発信する等により顧客満足度を向上させます。</p> <p>□各年実施の利用者アンケートや自主事業等の</p>	<p>■施設利用者の発表会等のポスターやチラシを館内に掲示・配架し、広報支援を行いました。</p> <p>■自主事業実施時の来場者アンケート及び利用者懇話会を継続実</p>	<p>■館内で実施する施設利用者の広報支援はもとより、他館での公演チラシも配架協力をするなど、利用者の芸術活動を積極的に支援しました。空き状況について電話対応も含め、利</p>

<p>◆サンハート友の会を継続し、会員へのサービス向上と共に強力なサポートナーとしての関係作りを図ります。</p>	<p>来館者アンケートをはじめ、ヒアリングの随時実施と年1回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握してサービス向上に努めます。</p> <p>□改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポートナー的存在として会の運営を行います。また、会員特典の充実等を図り、会員数増をめざします。</p>	<p>施しました。また、受付スタッフによるヒアリングを日常的に行いました。</p> <p>■29年度友の会会員(継続・新規)を募集しました。会員特典については、二俣川ライフ内飲食店で使用できる割引やサービスを各店舗に協力依頼しました。</p>	<p>用者に対して丁寧な対応に心がけました。</p> <p>■自主事業開催時の来場者アンケートでは、事業についての評価および感想をうかがうとともに、ニーズを把握し次年度の事業計画に反映させることができました。また、利用者懇話会では、ハンドベルを利用している5団体の利用者から、素直なご意見・ご要望を伺い、今後の活動に反映するよう取り組みました。</p> <p>■割引特典を提供し、友の会の会員数は前年度実績並みの112名となりました。</p>
---	---	---	---

(2)的確な施設提供の実現について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆効率的且つ安定した施設の開館・運営を行います。</p> <p>◆利用者アンケートや利用者懇話会からの声を基に満足度向上・利用促進を図ります。</p> <p>◆施設利用者へ専門的な利用方法等効果的なアドバイスを行います。</p> <p>◆周辺施設と連携して地</p>	<p>□開館日数 345 日 休館日 20 日 年末年始 12月29日～1月3日 施設点検・消防設備点検 14日</p> <p>□様々な媒体を活用し、施設のPRを充実させ稼働率向上に努めます。</p> <p>□舞台技術を含め、専門</p>	<p>■開館日数 345 日 休館日 20 日 年末年始 12月29日～1月3日 施設点検・消防設備点検 14日</p> <p>■催し物案内や各種媒体に加えて、フェイスブックやツイッターなどSNSを使用した情報発信を実施しました。</p>	<p>■臨時の休館等もなく、所期の予定通り345日の開館を達成しました。また、施設点検・消防設備点検も計画に沿って実施することができました。</p> <p>■SNSを使用することで、その時の販売状況等に応じ、タイムリーな情報を発信することが</p>

<p>域全体の賑わい作りに貢献します。</p> <p>◆施設を有効活用し、施設の魅力作り・活性化を図ります。</p> <p>◆利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信します。</p>	<p>性をもった職員が常駐して、利用者からの相談・下見・利用打合せをはじめ、トラブル等緊急時にも迅速に対応します。</p> <p>□二俣川ライフ、二俣川駅周辺商店街、二俣川駅、並びに相鉄線全駅との連携事業を展開していきます。</p> <p>※グリーングリーンは平成30年3月末まで改裝工事中。</p> <p>□ロビーコンサートを引き続き実施すると共に、施設有効活用について区民からアイデアを募集します。</p> <p>□予約システムで閲覧できない、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を更新し、施設内に発信します。</p>	<p>■舞台技術(音響・照明)の専門職員が常駐し、利用者の相談に丁寧に応えるとともに、利用に際してきめ細かなプロデュースを行いました。</p> <p>■二俣川駅北口「二俣川ライフ」と連携し、「友の会」事業などを実施、推進しました。また、二俣川駅周辺の商店会が実施した、「旭区落語・演芸まつり」に協力しました。</p> <p>■過去に実施した「ロビーコンサート」に、よりお客様の声を反映させて始動した「ワンコインコンサート」では、抽選後の空き施設を活用しました。同じく空き施設を活用した「ホールでピアノ」や、サンハート会議室を使用した「美音俱楽部」など、館内スペースを有効に活用しました。また、館内に数ヵ月にわたる各室場の予約状況を掲出し情報提供を行いました。</p>	<p>できました。</p> <p>■舞台技術担当職員の技術の高さ、真摯な対応に対してご利用者からお褒めの言葉をいただいたり、来場者アンケートにも音響・照明などを評価する回答が少なくありませんでした。</p> <p>■ビル商店会との連携で「友の会」を推進し、相互の集客向上を図ることができた他、地元の商店会に協力した「落語まつり」では、演芸による地域の賑わいを演出しました。</p> <p>■館内スペースを有効利用して実施した自主事業等はいずれも好評を得、年間を通して多数の来場者を獲得しました。</p> <p>■リアルタイムな情報発信に努めるとともに、ネットユーザーではないご利用者(特に高齢者)についてでは電話、窓口で丁寧な情報提供やご相談にお応えしました。また新予約システムについては、さらに丁寧な対応をこころがけ、安定した運用に努めました。</p>
---	--	---	---

(3)的確な広報の展開について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担います。</p> <p>◆情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣传活动を実施します。</p>	<p>□情報コーナーでは、文化芸術資料として、雑誌・図書・情報誌を設置するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど様々な文化芸術情報を得る事ができるスペースとして整備します。</p> <p>□毎月の催し物案内発行、ホームページのリアルタイム更新をはじめ、当事業体ならではの媒体(交通広告・広報紙等)を有効に活用しPRを行います。</p>	<p>■文化芸術関係の図書類を情報コーナーに配架し、情報誌等については常に最新刊を閲覧できるよう配置にも工夫をしました。情報コーナー周辺には、横浜市内はもとより神奈川県内各地域の公共施設情報なども用意しました。</p> <p>■毎月発行の「催し物案内」では、発表系施設の催しや自主事業などの情報を、分かりやすく掲載するよう、工夫しました。預りチケットの一覧を載せ、貸館公演についても、販売促進に努めました。また、当事業体ならではの媒体(交通広告、地域情報紙等)を適宜活用し、適切かつ積極的なPRを実施しました。</p>	<p>■情報コーナー(無料スペース)については、施設ご利用者のみならず、多数の一般来館者の方々(月平均約1,000人)にもご利用いただきました。「催し物案内」の掲載方法を工夫したことで、手に取るお客様も多く、広告の掲載も行ないました。交通広告・地域情報紙などを有効に活用し、自主事業の集客に貢献することができました。</p>

(4)専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした</p>	<p>□以下の通り人員を配置し運営します。</p> <p>【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置</p>	<p>■【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置 館長1名・副館長1名・職員5名 【舞台技術】</p>	<p>■運営スタッフ7名、舞台技術の専門スタッフ4名、さらに横浜市旭区民文化センターとして</p>

<p>た地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的管理とホスピタリティ精神をもった運営を行います。</p> <p>◆職員・スタッフの施設運営スキルアップのため研修を実施します。</p>	<p>館長 1名 副館長 1名 職員 5名 【舞台技術】※利用状況により2~4名 職員 4名 【受付スタッフ】 カルチャースタッフ12名(地域採用) □機材研修、個人情報研修、消防訓練等を実施し、運営に役立てます。</p>	<p>職員4名※利用状況により1~3名【受付スタッフ】カルチャースタッフ12名総勢23名のスタッフが常時5名以上で運営しております。</p> <p>■消防・防災訓練、個人情報保護研修等を実施。また、指定管理者研修、各種セミナーに参加しました。</p>	<p>の受付業務に習熟したカルチャースタッフ12名との相互協力により、円滑かつ効率的な管理運営を行いました。</p> <p>■消防・防災訓練および個人情報保護研修を実施。また、指定管理者研修等に参加することで管理運営面でのスキルアップに努めました。</p>
--	---	---	--

4 施設の管理に関する計画

利用者が安心して利用できるよう快適な環境作りを目指し、安全性、防犯性について最大限の配慮をします。サンハートは開館から27年を迎え、設備全体が老朽化してきています。それらの状況を踏まえた上で、施設の運営に支障をきたさぬよう維持管理に努めます。

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

[業務内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆安全・安心できる施設の維持</p> <p>◆定期的な設備点検</p> <p>◆必要に応じた緊急点検</p> <p>◆施設設備の予防保全</p>	<p>□設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点検を実施します。</p> <p>□老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図ります。</p> <p>□月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行います。</p>	<p>■施設・設備保守管理を的確に行うために、定期的に施設点検を実施しました。</p> <p>■開館後27年を経て老朽化した施設・設備の修繕すべきところを緊急度合に応じて、ホール調整室防火シャッターの補修工事を行いました。また、予防保全の観点から設備のオーバーホール等を実施しま</p>	<p>■設備保守管理として、施設・設備の定期点検を実施し、安全な施設の維持に努めました。</p> <p>■定期的に施設点検及び建築物点検マニュアルに準拠した点検を実施しました。また、施設・設備の破損・汚損・故障などの発生に際しては迅速に対応致しました。なお、緊急性が高く安全面からホール</p>

		した。	調整室防火シャッターの補修工事を実施しました。
--	--	-----	-------------------------

(2) 快適な環境の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆安心できる環境の維持	<p>□清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施します。</p> <p>□美観を維持するように取り組みます。</p> <p>□環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努めます。</p> <p>□空気環境測定(VOC等含む)を実施します。</p> <p>□社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定します。</p> <p>□ヨコハマ3R 夢など市の施策や事業に協力します。</p> <p>□空気環境測定結果の報告書を作成します。</p>	<p>■日常清掃、定期清掃を計画どおり実施しました。</p> <p>■職員・スタッフ全員が常に整理整頓を心がけ、快適にご利用いただけよう努めました。また、照明器具をLEDに交換し、照度の改善に努めました。</p> <p>■館内にはごみ箱を設置せず、ご利用者にはごみの持ち帰りを促しました。</p> <p>■受付カウンターおよび事務室内のごみについて減量化に努めるとともに、ごみ分別を徹底しました。</p> <p>■館内の空気環境測定を毎月実施し、報告書を作成しました。</p>	<p>■各清掃をもれなく実施し、快適な環境保持と美観の維持に努めました。</p> <p>■情報コーナーの各テーブルに観葉植物と生花を配置し、館内を明るくソフトな雰囲気にしました。また、照明器具をLEDに交換し、明るさを改善しました。</p> <p>■ごみ箱の撤去により、ごみの減量化に対する来館者の意識を高めると共に、事務室内のごみ減量に努め、確実な分別廃棄を実施しました。</p> <p>■毎年、サンハートの中庭にゴーヤ栽培を実施して、ご好評を得てきましたが、今年度は横浜市のグリーンアップ作戦によるゴーヤやお花の植栽が実施され、水やり等に協力しました。</p> <p>■空気環境測定、害虫駆除(防除)水質検査(レ</p>

			ジオネラ菌)などを定期的に実施し、安心してご利用いただける環境づくりをしました。
--	--	--	--

5 その他の計画

(1) 危機管理対策について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>◆緊急時の対応</p> <p>◆利用者の安全・安心を確保</p> <p>◆防災管理</p>	<p>□緊急内容別(事故、犯罪、火災、設備故障など)に連絡網の整備を行います。</p> <p>□大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整えます。</p> <p>□平成24年度に作成した「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備えます。</p> <p>□緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出します。</p> <p>□近隣在住職員をあらためて確保します。</p> <p>□事故、犯罪及び火災等を発生させないために、職員による定時巡回を実施します。</p> <p>□消防計画書を作成しま</p>	<p>■緊急時連絡網を整備・作成し、旭区に提出しました。</p> <p>■9月の休館日に、全ての避難口と防災設備の確認と帰宅困難者を受け入れる場合の実技訓練と備蓄品の確認を行いました。</p> <p>■当館職員およびスタッフは、相鉄線沿線在住者を中心に採用し、方が一の際に迅速な対応ができるよう備えました。</p> <p>■防災センター警備員による定時の巡回に加え、隨時当館職員・スタッフが館内を巡回し、異常を早期発見・早期対処できるよう努めました。</p> <p>■消防計画書を作成し、日頃より防火・防災に努め、安全確認のチェックを日々行いました</p>	<p>■帰宅困難者一時滞在施設として、緊急時に円滑に機能するよう、全職員・スタッフが災害対策訓練に参加しました。併せて備蓄品の確認を行いました。</p> <p>■受付カルチャースタッフ12名と職員4名は、旭区在住ないし相鉄線沿線在住者で構成されています。</p> <p>■各職員・スタッフが適宜館内を巡回および事務室内モニターにて各室場内を確認し、安全・安心の確保に努めました。</p> <p>■消防計画書を作成し、年間2回の防災訓練を実施しました。また、当館が入居している共同ビル全体の緊急地震速報対応および消防訓練、救命講習に参加するなど、訓練を</p>

	<p>す。</p> <p>自衛組織を結成し、日常の防火・防災に努めます。</p> <p>催事の際は、避難導線の確保等の指導を行います。</p> <p>消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年2回防火・防災訓練を実施します。</p>	<p>た。また、催事の際に利用団体の責任者に対し、事前に避難誘導確保についての指導を行いました。</p>	<p>重ねることにより職員・スタッフの意識を高め、緊急時に迅速・的確な対処ができるよう備えました。</p>
--	--	--	---

(2)自己評価・PDCAサイクルの活用について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆日報及び月報の作成・管理(業務記録の整備)	□業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告をおこないます。	■日々の業務内容を業務管理日誌、業務週報に記載し、情報の共有と周知を図りました。	■業務管理日誌を通じて日々の業務に関する職員間の情報共有の徹底に努めました。
◆業務計画書及び業務報告書の作成・管理(利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定)	□PDCAサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取組みます。	■月報の形式で毎月の運営管理報告を作成し、毎月旭区および共同事業体への報告を行いました。	また、受付スタッフに対しては常用連絡ノートおよびミーティング議事録の回覧などを用いて情報共有、連絡強化を図りました。モニタリングでは運営管理業務実績の報告及び業務に関する打合せを実施し、施設・旭区との情報共有、協力体制の構築を図りました。
◆モニタリングの実施(モニタリングへの対応・体制の整備)	□業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築します。	「平成29度事業計画書」および「平成28度業務報告及び収支決算」を作成し旭区役所に提出しました。	
◆自己評価の実施(PDCAサイクルの導入と確実な運用)	□利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取組みます		■毎月定期的に運営・技術職員が参加する、全

			体ミーティングを実施しました。職員各々が報告・確認・提案などを行い、施設の運営管理および自主事業実施にあたっての問題を検討しながら最適な選択を行いました。
--	--	--	---

6 収支について

(1) 経費削減の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆管理運営コストの削減に努めます。	<input type="checkbox"/> 無駄な光熱水費の削減と、業務効率化等による無駄なコストの削減に努めます。但し、利用者の満足を阻害するようなサービス低下につながる必要コストの削減はしません。 <input type="checkbox"/> 軽易な修繕については職員自ら行い、修繕費を有効に活用します。	<ul style="list-style-type: none"> ■館内照明や冷暖房のこまめなオン・オフを行い光熱水費の削減に努めました。 ■当館常備の楽器(ドラム・シンバルなど)の定期的な手入れや(ハンドベル等の)軽微な修繕は極力職員の手で行い修繕費の経費抑制に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■光熱水費については削減に努めた結果、水道料金は、前年度比21.7%の減となりました。

(2) 収入向上の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
◆収益向上、適正な受益者負担を設定し、外部資金獲得に努めます。	<input type="checkbox"/> ホール・諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図ります。 <input type="checkbox"/> 魅力的な事業を実施し、入場料収入を最大	<ul style="list-style-type: none"> ■館内施設の空き状況については、館内に掲示しました。 ■ホールの空きコマを有効利用するため好評な「ホールでピアノを弾いてみませんか?」という 	<ul style="list-style-type: none"> ■高い施設利用率を維持するとともに、ご利用者の利便に寄与することができました。 ■普段ホールを利用されないお客様にもホールを活用していただいた

	<p>限に確保します。</p> <p>□事業協賛金、物品提供(飲料メーカー、菓子メーカー)、広告収入等の確保に努めます。</p>	<p>企画を引継ぎ実施しました。</p> <p>■継続して実施してきた「あさひ亭まねき寄席」や「あさひ名画座」、「夏休み子ども講座」、「バレンタインコンサート」などは引き続き好評で集客に寄与しました。</p> <p>■催し物案内へ、広告掲載情報を掲載しました。</p>	<p>だけでなく、収入向上に繋がりました。</p> <p>■集客力の高い魅力的な自主事業を多数実施したこと、自主事業収入は当初予算を9.1%上回りました。</p> <p>■催し物案内へ申込みのあった広告を掲載しました。</p>
--	--	--	---

(3) 収支決算書

項目	予算額	決算額	増減額	備考
収入				
指定管理料収入	105,768,000	105,768,000	0	
利用料金収入	29,486,000	30,902,860	△ 1,416,860	
事業収入	6,640,000	7,244,617	△ 604,617	
その他収入	1,585,000	1,726,636	△ 141,636	
収入合計	143,479,000	145,642,113	△ 2,163,113	
支出				
人件費	68,159,000	69,865,956	△ 1,706,956	
事務費	4,673,000	4,180,306	492,694	
事業費	9,750,000	8,811,231	938,769	有料企画 7,830,365 円 無料 457,400 円 一部有料 147,887 円 その他 375,579 円
管理費	56,285,000	56,194,897	90,103	
公租公課	12,000	3,000	9,000	
事務経費	4,600,000	4,600,000	0	
支出合計	143,479,000	143,655,390	△ 176,390	
收支差額	0	1,986,723	△ 1,986,723	

【別紙1】

【自主事業フレーム】

1. 鑑賞事業	一流の芸術家による事業	「重忠と菊の前」「ジャズスペシャルライブ」「デビューコンサート」
	普段着の芸術鑑賞	「あさひ亭まねき寄席」「ワンコインコンサート」「ジャズセッション」「アウトリーチ」
2. 機会提供事業	サンハートオリジナル	「演劇ワークショップ」「レジデントアーティスト」「サンハートアンサンブルオーディション」
	私たちのホール	「読み聞かせサポーターによるおはなし会」「すくすくキッズプログラム」「美音俱楽部」「サンハート運営サポートスタッフ」「区民企画委員」
	その他シーズンイベント	「オープンデー」「ホールでピアノを弾いてみよう」「夏休み子ども講座」

【自主事業一覧】

No	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (講座参加者数)
1-1	12月 (2日公演)	重忠と菊の前	ホール	二俣川ゆかりの鎌倉武士、畠山重忠の生涯を、妻菊の前の目線で描く詠み芝居。	一般 3,500 円 (当日 4,000 円) 高校生以下 2,500 円 (当日 3,000 円) ペア 6,000 円 (前売りのみ)	275 人
1-2	3月	ジャズ スペシャルライブ	ホール	人気 No. 1 ジャズドラマ 一大坂昌彦をはじめ、人 気ミュージシャンによるこ の日限りの特別プログラ ム。	一般 3,000 円 (当日 3,500 円) 高校生以下 2,000 円 (当日 2,500 円) ペア 5,000 円 (前売りのみ)	192 人
1-3	6月	デビュー コンサート	ホール	アンサンブルオーディシ ョン最優秀賞受賞組によ	一般 1,000 円 (当日 1,200 円)	196 人

				る、良質なクラシックコンサート。	高校生以下 800 円 (当日 1,000 円)	
2-1	計 3 回 (6・9・1 月)	あさひ亭 まねき寄席	ホール	著名な真打ちや若手落語家による公演。8月は 60 回記念公演のため、若者にも人気の出演者を起用し、若年層の開拓に努める。	一般 2,500 円 (当日 2,700 円) 中学生以下 1,500 円 (当日 1,700 円) ペア 4,000 円 (前売りのみ) ----- 一般 2,000 円 (当日 2,200 円) 中学生以下 1,000 円 (当日 1,200 円) ペア 3,500 円 (前売りのみ)	第 60 回 270 人 第 61 回 195 人 第 62 回 282 人
2-2	計 6 回 (8・11・3 月、一日 二回 公演)	ワンコイン コンサート	ホール 音楽ホール	若手音楽家によるクラシックアンサンブルのコンサート。一日二回公演で、午前の部は乳幼児も参加可能とし、誰もが気軽に音楽に触れられる機会を提供する。	一般 500 円 ※午前の部は膝上無料	11 月 午前 68 人 午後 106 人 3 月 午前 37 人 午後 104 人
2-3	11 月	えほんコンサート	ホール	未就学児やその親を対象とした映像とピアノと朗読によるコンサート。横浜在住のピアニスト兼作曲家である西本梨江さんにご出演いただく。	大人 700 円 小学生以下 300 円	午前 197 人 午後 74 人
2-4	計 24 回 (小学校 4	アウトリーチ	旭区内 各所	小学校や福祉施設等へ、出前コンサートやワ	無料	延べ約 1,000 人

	回、地域・福祉 12回、保育園 8回)			一クシップを届ける。オーディション受賞者への演奏機会提供の場も兼ねる。		
3-1	計 12 回 6・7 月	演劇 ワークショップ	ホール カルチャー 工房	講師に文学座の松井工、特別講師に横浜夢座の五大路子を迎え、演劇を通じたコミュニケーションのスキルアップを目指したワークショップ。	一般 24,000 円 学生 18,000 円	来場者 115 人 出演者 26 人
3-2	計 2 回 (8・12 月)	JAZZ セッション	ホール	人気のジャズミュージシャンのライブに加え、希望者は飛び入り参加して、プロのミュージシャンとのセッションができる。	一般 2,000 円 (当日 2,500 円) 高校生以下 1,000 円 (当日 1,500 円)	8 月 93 人 12 月 92 人
3-3	10 月	サンハートアンサンブルオーディション／レジデントアーティスト	ホール	地域のアマチュア音楽家や近隣の音大生を対象に、器楽を中心としたアンサンブルのオーディション。入賞者は、主催事業での出演機会提供の他、アウトリーチ事業への参加アーティストとして、地域へ積極的に広報を行う。	一組 5,000 円	12 組
4-1	通年 (月 1 回)	読み聞かせサポートによる「おはなし会」	ホール ロビー	未就園児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせ会。サンハートの読み聞かせ講座を修了した「読み聞かせサポート」が企画運営を担当する。館外からの依頼も積極的に引き受け、絵	無料	延べ 342 人

				本の読み聞かせを通じた地域貢献を目指す。		
4-2	通年 (月1回)	すぐすぐキッズ プログラム	ホール	乳幼児を対象に、初めて音や絵と触れ合う機会を提供。すぐすぐキッズディレクターを募集し、ディレクターとサンハートとの共催の運営とする。	一組 500～800 円	延べ約300人
4-3	通年 (月1回)	美音俱楽部	会議室	サンハート独自の真空管アンプを使った会員制のレコード鑑賞会。	1時間 100円	登録会員 13人 延べ利用人数 127人
4-4	通年	運営サポーター	ホール			登録 9人
4-5	通年	区民企画委員	ホール 会議室	区民の目線を通してサンハートならではの企画をプロデュース。「バレンタインコンサート」と「名画座」の企画運営を行う。	名画座① 一般 700円 (当日 800円) 名画座② 一般 600円 (当日 700円) 小学生以下 500円 親子券 1,000円 (前売りのみ) ----- バレンタイン 一般 2,500円 (当日 2,700円) ペア 4,000円 (前売りのみ)	7月名画座 170人 11月名画座 121人 1月名画座 145人 2月バレンタイン 240人
5-1	8月	オープンデー	全施設	全館で無料や低価格のイベント、さらに市民参加型の催しを行い、普段サンハートを利用しない方や家族連れが気軽に施設に立ち寄っていただくきっかけを提供す	一部有料	名画座 153人 ワンコイン 午前 95人 午後 92人 その他約410人 延べ約750人

				る。		
5-2	通年	ホールでピアノを弾いてみよう	ホール 音楽ホール	サンハートホールや音楽ホールのフルコンサート グランドピアノを 1 時間 単位で試演できる企画。	1時間 2,000 円 2時間 3,800 円	延べ 446 人
5-3	8月	夏休み子ども体験講座(ハンドベル／映画作り)	ホール 音楽ホール カルチャー 工房 ミーティングルーム	夏休みの数日間～1週間、サンハートに集まった小中学生で一致団結し、集大成となる催し物を開催する。(ハンドベル発表会／ショートムービー上映会)	ハンドベル 4,500 円 映画作り 4,500 円	ハンドベル 26 人 映画作り 24 人
6-1	通年	サンハート友の会		固定顧客層への優遇体制を整え、顧客満足度向上を図る。	年会費 1,200 円	112 人
6-2	通年	備品購入 郵送費		チラシ用のカラーペーパー購入費や、他館へのチラシ発送代など。		
6-3	通年	取材 打合せ諸経費		その他諸経費		

※オープンデーについて

オープンデーの一環として、ワンコインコンサートと名画座(区民企画)を実施したため、各事業の開催時期には8月が含まれますが、参加者数についてはオープンデーの方に加算されています。

平成29年度 「旭区民文化センター」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	105,768,000		105,768,000	105,768,000	0	横浜市より
利用料金収入	29,486,000		29,486,000	30,902,860	1,416,860	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	482,000		482,000	308,000	174,000	
自主事業収入	6,158,000		6,158,000	6,936,617	778,617	
雑入	1,585,000	0	1,585,000	1,726,636	141,636	
印刷代	272,000		272,000	267,820	4,180	
自動販売機手数料	600,000		600,000	552,006	47,994	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（）	713,000		713,000	906,810	193,810	
収入合計	143,479,000	0	143,479,000	145,642,113	2,163,113	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	68,159,000	0	68,159,000	69,865,956	1,706,956	
給与・賃金	68,159,000		68,159,000	69,865,956	1,706,956	
社会保険料			0		0	
通勤手当			0		0	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	4,673,000	0	4,673,000	4,180,306	492,694	
旅費	48,000		48,000	30,704	17,296	
消耗品費	300,000		300,000	300,000	0	
会議賄い費	89,000		89,000	6,348	82,652	
印刷製本費	948,000		948,000	801,604	146,396	
通信費	588,000		588,000	679,923	91,923	
使用料及び賃借料	210,000	0	210,000	148,800	61,200	
横浜市への支払分	210,000		210,000	148,800	61,200	
その他			0		0	
備品購入費	1,360,000		1,360,000	995,667	364,333	
図書購入費	260,000		260,000	260,000	0	
施設賠償責任保険	234,000		234,000	233,140	860	
職員等研修費	84,000		84,000	35,402	48,598	
振込手数料	4,000		4,000	1,728	2,272	
リース料	492,000		492,000	636,990	144,990	
手数料			0		0	
地域協力費	56,000		56,000	50,000	6,000	
事業費	9,750,000	0	9,750,000	8,811,231	938,769	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	482,000		482,000	308,000	174,000	
自主事業費	9,268,000		9,268,000	8,503,231	764,769	
管理費	56,285,000	0	56,285,000	56,194,897	90,103	
光熱水費	12,835,000	0	12,835,000	12,754,112	80,888	
電気料金	7,331,000		7,331,000	7,663,055	332,055	
ガス料金	2,307,000		2,307,000	2,695,791	388,791	
水道料金	3,197,000		3,197,000	2,395,266	801,734	
清掃費			0		0	
修繕費	2,100,000		2,100,000	2,110,714	10,714	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	41,350,000	0	41,350,000	41,330,071	19,929	
空調衛生設備保守	17,498,000		17,498,000	17,489,520	8,480	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	23,852,000		23,852,000	23,840,551	11,449	
共益費			0		0	
公租公課	12,000	0	12,000	3,000	9,000	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	12,000		12,000	3,000	9,000	
その他（）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	4,600,000	0	4,600,000	4,600,000	0	
本部分	4,600,000		4,600,000	4,600,000	0	
当該施設分			0		0	
ニーズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	143,479,000	0	143,479,000	143,655,390	176,390	
差引	0	0	0	1,986,723	1,986,723	
自主事業費収入	6,158,000			6,936,617		
自主事業費支出	9,268,000			8,503,231		
自主事業収支	3,110,000			1,566,614		
管理許可・目的外使用許可収入	600,000			552,006		
管理許可・目的外使用許可支出	210,000			148,800		
管理許可・目的外使用許可収支	390,000			403,206		